

チャック語会話文資料

藤原 敬介

【要旨】本稿では、ビルマ語の教科書である加藤 [1998] にみられる全 20 課の会話文をチャック語 (チベット・ビルマ語派ルイ語群: バングラデシュ) に翻訳し語釈を付与したものを紹介する。かぎられた分量の資料からでもチャック語にみられる基本的な文法事項を観察することが可能である。すなわち、さまざまな格の用法 (属格 6-B6 など; 目的格 6-A1 など; 場所格 2-A3 など; 共同格 5-B3 など; 呼格 11-A1)、数詞と類別詞 (7-A4 など)、否定 (1-B1 など)、決定疑問文 (1-A1 など)、補足疑問文 (1-A2 など)、命令文 (10-B6 など)、否定命令文 (10-B9 など)、動詞連続 (4-B5 など)、使役 (17-A6 など)、受身 (15-B5)、名詞修飾 (9-A1 など)、条件文 (4-B3 など)、所有 (7-A1 など) などの用例が提示されている。

キーワード: チャック語、サック語、チベット・ビルマ諸語、ルイ語群、会話文

0 はじめに

本稿ではバングラデシュ・チッタゴン丘陵でチャック人 (Cak: 仏教徒、人口 3000 人ほど) によってはなされるチャック語 (チベット・ビルマ語派ルイ語群) の会話文を紹介する。この会話文はビルマ語の教科書である加藤 [1998] にみられる全 20 課の会話文をチャック語に翻訳したものである^{注1}。

チャック語は、ビルマ・ラカイン州ではなされるサック語 (Sak) と方言関係にある言語である。筆者の観察によれば、チャック語とサック語は基礎語彙の類似率が 90% をこえると推定されるほどによく似た言語であり、固有語を使用するかぎりにおいてはほぼ相互理解が可能である。ただしチャック語にはバングラ語からの、サック語にはビルマ語からの借用語が多数あるために、相互理解が困難になることはある。

バングラデシュのチャック人とビルマのサック人には、交流がまったくないわけではない。しかし一般にはチャック人はバングラデシュでのみ、サック人はビルマでのみ生活している。したがってチャック語話者がサック語に、サック語話者がチャック語にふれることはほとんどない。バングラデシュのチャック語話者は、チャック語のほかにチッタゴン丘陵の共通語であるマルマ語 (Marma)、さらにバングラデシュの公用語であるバングラ語に堪能であることがおおい。他方、ビルマのサック語話者は、

^{注1} 加藤 [1998] はビルマ語圏での言語調査において文法調査票としても使用しうる。たとえば Kurabe [2012] は、加藤 [1998] にみられる会話文をジンポー語に翻訳し、訳注をつけたものである。また加藤 [1998] の新版である加藤 [2015] を利用したのとしては藤原 [2017] がある。

サック語のほかにラカイン州のビルマ語アラカン方言、そしてビルマの公用語である標準ビルマ語に堪能であることがおおい。

チャック語にはながく文字がなかった。しかし近年になって文字が作成された。まだ普及しているとはいえないけれども、今後チッタゴン丘陵のチャック人に対する学校教育で使用されていく可能性がある。また、ビルマのサック人もこの文字の存在はしっており、有志が自習しはじめている^{注2}。

翻訳にあたっては、筆者にチャック語をおしえてくれているオン・トワイン・ギョー・チャックさん (?oŋthwáingyo ca?: 1978 生、バイシャリ出身) にご協力いただいた。

チャック語の資料としては包括的な記述文法である藤原 [2008] や 7000 語ほどの見出し語をもつ辞書である Huziwara [2016] などがある。サック語の資料としては、サック人の民族誌を記述した Thun Shwe Khaing [1988] の附録にあがる基本語彙および例文、記述文法である Moe Sandar [2010] などがある。しかしながら、本稿で提示するような会話文資料は存在しない。

1 表記上の注意

本稿におけるチャック語は筆者による音素表記である。

音素は /p, ph [p^h], b, t, th [t^h], d, c [ts], ch [ts^h], j [dz] ~ [z], k, kh [k^h], g, ʔ, ʃ, ʄ, s, ʃ, h, m, n, ŋ, l, r, w, v, y [j]; i, e, a, o, u, i, u, ə/ である。音節構造は C₁(C₂)(C₃)V₁V₂(C₄) とまとめることができる。C₁ にはすべての子音があらわれうる。C₂ には /r, w, v, y/ が、C₃ には /w/ が、C₄ には /ʔ, ŋ/ があらわれうる。V₁ にはすべての母音が、V₂ には /i/ のみがあらわれうる。ただし、V₁V₂ のくみあわせとしてありうるのは /ai/ のみであり、いずれも閉音節であられる。声調としては低声調（アクセント記号なし）と高声調（鋭アクセント記号 ´ でしめす）が弁別的である^{注3}。

チャック語において母音 a はしばしば弱体化して ə として実現する。形態素境界の直前ではかならず弱化する。接辞境界、接語境界、語境界の直前では弱化することがおおいけれども、弱化しなくともよい。本稿では、形態素境界を明示するものについては実際には [ə] で発音されるとしても a で表記する。形態素境界を明示しないばあいには ə で表記する。かならずしも弱化しないものについては a で表記する。なお接頭辞

^{注2} チャック文字についてくわしくは藤原 [2015] を参照。また筆者は現在 Huziwara [2016] の改訂版を準備中であり、そこでは全見出し語と例文にチャック文字表記を併記するとともに、ビルマ語訳もつける予定である。

^{注3} 藤原 [2008] や Huziwara [2016] などでは継起をあらわす =koʔ/=goʔ や動態述部標識の =heʔ、静態述部標識の =huʔ などについて、一定の環境で高声調に変調するとしていた。しかし、それらは節末や文末のイントネーションによってピッチが上昇しているように聞こえているものであるとわかった。

ʔá-/ʔa-については、煩雑をさけるため、原則としては接辞境界を表記しない。たとえば三人称をあらわす ʔáma は、ʔá-ma と表記しうるけれども、ʔáma と表記しておく。ただし否定接頭辞と受身にかかわる接頭辞については接辞境界を明示する。

チャック語には、ビルマ語やマルマ語などと同様に、有声交替 (voicing alternation) とよばれる現象がある。有声交替とは無声閉鎖音の語頭子音が語中にあらわれるとき、対応する有声閉鎖音に変化する現象のことである。接辞や接語はほぼかならず有声交替する。他方、複合語形成にさいしては有声交替するものもあれば、しないものもある。有声交替しうる子音のくみあわせは次のとおりである: $p > b$, $t > d$, $c > j$, $k > g$ 。ただし、声門閉鎖音の後では有声交替しない。たとえば使役をあらわす -cíj/-júj “-CAUS” は、声門閉鎖音のあとでは liʔ-cíj “to.work-CAUS” のように、それ以外の環境では sa-júj “to.eat-CAUS” のようにあらわれる^{注4}。

語釈において、動詞は “to.VERB” とし、動詞としても使用される助動詞は “-VERB” とした^{注5}。たとえば動詞の túj は “to.stay” であり、助動詞の -túj は “-stay” である。

2 チャック語の基本的な特徴

会話文資料を提示する前に、チャック語の基本的な特徴をまとめておく。

チャック語の基本語順は「主語・目的語・動詞」である。基本語類としては名詞、動詞、副詞、小辞、間投詞がある。主格・対格型の格標示をおこなう^{注6}。基本的に従属部標示型の言語である。名詞にせよ、動詞にせよ、修飾小辞は主要部に後続する傾向にある。名詞は単独で文を形成しうるほか、格標識を中心にさまざまな名詞小辞が付加しうる。また、名詞述語文は一般に静態述部標識 (=huʔ) をとる。動詞は単独で使用して命令文になりうる^{注7}ほか、動態述部標識 (=heʔ) に代表される述部標識を付加してさまざまな文を形成する。動詞に助動詞が付加することにより、時制・相・様態などが表現されうる。使用頻度のたかい動詞は文法化して助動詞となる傾向にある^{注8}。

^{注4} 有声交替しうる頭子音は有声交替する傾向にある。ただし、無声無気音と有声無気音の対立そのものは語中でも確認される。たとえば ʔátuj “short” に対して ʔádu “address term for younger man” がある。したがって本稿では有声交替しているばあいには、有声交替した形式で表記している。

^{注5} 本稿では、たとえ動詞としての用法をもつものであっても、助動詞はすべて接辞としてあつかう。

^{注6} ただし、無生物が目的語であるばあいには格標示されることがすくない。有生物が目的語であるばあいには格標示される傾向にある。

^{注7} ただし、動詞が単独でもちいられて命令文となることはまれである。通常はなんらかの命令文標識が付加する。

^{注8} 本稿で提示される助動詞化しうる動詞は次のとおりである。kaiʔ “to.run” が非意志 (11-A4 など)、túj “to.stay” が継続 (8-B3 など)、naʔ “to.beat” が強意 (7-B3 など)、pí “to.put”

文末にはさまざまな文小辞が付加し、伝聞、疑念、驚嘆などの意味あいをつけくわえる^{注9}。

3 チャック語会話文

以下の会話文は加藤 [1998] にみられる会話文をチャック語に翻訳したものである。加藤 [1998] は、かぎられた紙幅のなかで基本的な文法事項を網羅的にあつかっている。たとえば、さまざまな格の用法（属格 6-B6 など; 目的格 6-A1 など; 場所格 2-A3 など; 共同格 5-B3 など; 呼格 11-A1）、数詞と類別詞（7-A4 など）、否定（1-B1 など）、決定疑問文（1-A1 など）、補足疑問文（1-A2 など）、命令文（10-B6 など）、否定命令文（10-B9 など）、動詞連続（4-B5 など）、使役（17-A6 など）、受身（15-B5）、名詞修飾（9-A1 など）、条件文（4-B3 など）、所有（7-A1 など）などの用例が提示されている。

例文番号は加藤 [1998] での課に対応する。たとえば（1）は第一課の会話文である。日本語訳は、多少不自然であっても、逐語訳にちかい訳をつけるようにした。なお、バングラデシュでの実態にあわせて、加藤 [1998] にみられる地名などを変更している箇所がある。また、必要に応じて初出時に注をつけている。

会話文では「,」（カンマ）がもちいられる。カンマの使用は四種類ある。すなわち、呼びかけのあと（2-A1 など）、間投詞のあと（2-B3 など）、従属節の末尾（4-B3 など）、連続する述部標識の切れ目（9-A2 など）、である。

(1)A1: *ʔáma ʔapéləsí =lé?*

3 apple.fruit =PQ
これはリンゴですか

B1: *ʔá-^{注10} rí^{注11} =βuu?*

NEG- to.do.COP =NEG.DP
そうではないです

が「～しておく」（5-A5）、*pre* “to.end” が終了（10-B5）、*yu* “to.watch” が試行（10-B6）、*laŋ* “to.go” が完了（11-A3 など）、*lu* “to.get” が可能（8-A4 など）、*hra* “to.feel” が経験（13-A3 など）、*βo* “to.see” が義務（8-B2 など）をあらわす。

^{注9} 文小辞がどのような意味をもっているかは一般に不明であることがおおく、正確な訳出は困難である。

^{注10} チャック語において接頭辞 *ʔá-/ʔa-* は同一語中に高声調がなければ高声調で、あれば低声調で実現する。

^{注11} *rí* は本来的には “to.do” である。本稿では繫辞として機能しうるものについては “to.do.COP” と語釈をつける。なお、*rí* はあくまでも動詞であるから、動態述部標識をとる。

B2: *ʔáma kráíʔsi =huʔ*.^{注12}

3 mango.fruit =SP
それはマンゴーです

A2: *ʔáma ʔása.mí*^{注13} =*gá =jáíʔ =ʔáʔ*

3 how =NMLS =thing =CQ
それはどのようなものですか

B3: *ʔáma ʔuysi =huʔ*.

3 coconut.fruit =SP
それはココナツです

(2)A1: *málá.me, həbəlosa (=huʔ) =léʔ*

PSN to.be.fine =SP =PQ
マーラーさん、元気ですか

B1: *həbəlosa =huʔ*.

to.be.fine =SP
元気です

B2: *moŋmoŋ =guʔʔ*

PSN =TOP
モンモンは

A2: *həbəlosa =huʔ*.

to.be.fine =SP
元気です

A3: *ʔa ʔátaiʔ jí =ʔa*^{注14} *laŋ =gá*.^{注15}

1 now market =LOC to.go =NMLS.FUT
私は今市場にいけます

^{注12} 名詞述語文は一般に=*huʔ* “=SP” が文末にくる (1-B2 など)。しかし、=*huʔ* なしで文をおわらせることも可能である (8-A3 など)。

^{注13} *ʔása.mí*の *ʔása* は “what” に相当する。また、形態素境界の直前にある *a* は実際には [ə] で発音される。ただし *mí* 単独の意味は明確ではない。そこで、全体としては “how” とのみ訳出する。このように、形態素分析可能であるから *a* は弱化して [ə] と発音されるけれども、意味的に分析可能とはかぎらないばあい、形態素境界のみ提示し、全体は一語で語釈をつけている。類例に *málá.me* “PSN” (2-A1) がある。

^{注14} 移動の着点を場所格の=*ʔa* “=LOC” であらわすことができる。

^{注15} 名詞化標識の=*ká*/*gá*が主節の述部にきて未来をあらわすとき、“=NMLS.FUT” と語釈をつける。

- A4: *gyó =gá =lé?*
 to.follow =NMLS.FUT =PQ
 ついてきますか
- B3: *?ij, gyó =gá.*
 yes to.follow =NMLS.FUT
 はい、ついていきます
- B4: *?a =yur? ?átaí? jí =?a laŋ =gá rí =ga =hu?*^{注16}
 I =too now market =LOC to.go =NMLS to.do =NMLS =SP
 私も今市場にいくところなのです
- (3)A1: *moŋmoŋ ?ása.mí =gá =jáí? sa =gá =yá?*
 PSN how =NMLS =thing to.eat =NMLS.FUT =CQ
 モンモンは何をたべるのですか^{注17}
- B1: *?a va? +saiŋ +kaiŋ sa =gá.*
 I pig +meat +curry to.eat =NMLS.FUT
 私は豚肉のカレーをたべます
- B2: *málá.me =yur? va? +saiŋ +kaiŋ sa =gá =lé?*
 PSN =too pig +meat +curry to.eat =NMLS.FUT =PQ
 マーラーメーも豚肉のカレーをたべるのですか
- A2: *?á- sa =buŋ? =ká*
 NEG- to.eat =NEG.DP =NMLS.FUT
 たべません
- A3: *?a va? +saiŋ +kaiŋ ?á- sa -ka? =buŋ?*
 I pig +meat +curry NEG- to.eat -want =NEG.DP
 私は豚肉のカレーをたべたくありません
- B3: *?ása +kaiŋ sa -ka? =he? =yá?*
 what +curry to.eat -want =DP =CQ
 何のカレーをたべたいですか

^{注16} 本来は=*gá=hu?*であると推定される。しかし=*ká/=gá*“=NMLS”は文末の=*hu?*“=SP”や=*he?*“=DP”の直前で弱化し、固有の声調をうしなう傾向にある。その例外については注47を参照。

^{注17} 「モンモンは何をたべますか」とするのが日本語としては自然である。しかしチャック語で=*ká/=gá*“=NMLS”が単独で文末にあるのではなく、他の述部標識や疑問文標識と共に起するとき、本稿では「ノダ」文のように訳出する。なお、この文と同様に疑問文であっても=*ká/=gá*をいれないことも可能である（8-A1など）。

A4: *?u +saiŋ +kaiŋ sa -ka? =he?*

fowl +meat +curry to.eat -want =DP
鶏肉のカレーをたべたいです

(4)A1: *pú? sa -aŋ =náŋ^{注18} =lé?*

rice to.eat -CMPL =PRFP =PQ
ご飯をもうたべましたか

B1: *sa -aŋ =náŋ.*

to.eat -CMPL =PRFP
もうたべました

B2: *málá.me =gu??*

PSN =TOP
マーラーメーは

A2: *?á- sa -nó^{注19} =bu?*

NEG- to.eat -still =NEG.DP
まだたべていません

A3: *ŋa pú? ruŋ -ŋaiŋ^{注20} =náŋ.*

1 rice to.be.hungry -VEN =PRFP
私はお腹がすいてしまっています

B3: *má =de ŋá =ne?, ŋa múŋdi ?atáŋ -yaiŋ =gá.*

this =like to.say =COND 1 rice.noodle to.treat -VEN =NMLS.FUT
そのようにいうなら、わたしが米麺をごちそうしましょう

A4: *?adóláŋ =lé?*

really =PQ
本当ですか

A5: *ma =a =yá?*

where =LOC =CQ
どこですか

注18 *=náŋ* は直前にかならず *-aŋ* “-CMPL” などの助動詞を必要とする。

注19 *-nó* は *-ní* “-still” が弱化した形式である。チャック語において形態素境界の直前の *a* はしばしば弱化して *o* となる。しかし語末が *a* 以外の音素であるとき、弱化することはまれである。

注20 *-ŋaiŋ* は “-VEN” と語釈がついているけれども、空間的な移動のみならず、心理的な移動をあらわすこともある。心理的な移動をあらわすとき、参与者に対する利害を含意する傾向にある。

B4: *ʔáphaʔ =ká* ^{注21} *chaiŋ =ya*.

friend =NMLS.GEN shop =LOC
友人の店で

B5: *sa =gá dáʔdáʔ sa +mí =heʔ*.

to.eat =NMLS very to.eat +to.be.good =DP
たべるのがとてもおいしいです

B6: *má =de =gá ʔáca =a*, ^{注22} *gyó -waiŋ =dáíʔ*.

this =like =NMLS reason =LOC to.follow -VEN =IMP
だから、ついてきてください

(5)A1: *ŋa ʔapáŋnaiʔ khəríʔ pru laŋ =gá*.

1 tomorrow travel to.go.out to.go =NMLS.FUT
私は明日旅にでます

B1: *ma =a laŋ =gá =yáʔ*

where =LOC to.go =NMLS.FUT =CQ
どこに行くのですか

B2: *phəlóŋfíʔ =ʔa =léʔ*

PLN:Cox's.Bazar =LOC =PQ
コックスバザールですか

A2: *ʔá- ri =buuʔ*.

NEG- to.do.COP =NEG.DP
そうではないです

A3: *cáiʔtəgój =ŋa laŋ =gá*.

PLN:Chittagong =LOC to.go =NMLS.FUT
チッタゴンにいきます

B3: *ʔása =ʔíŋ* ^{注23} *laŋ =gá =yáʔ*

what =COM to.go =NMLS.FUT =CQ
何でいきますか

^{注21} *=ká|=gá*が所有をあらわすときには“=NMLS.GEN”と語釈をつける。

^{注22} *ʔáca=a* は [*ʔátsa*] のように発音される。これは、単に *ʔáca* である場合とおなじである。*=a* “=LOC”があると判断する理由は、従属節の末尾であるからである。他の類例も同様である。なおチベット・ビルマ諸語においては、場所格がしばしば従属節をみちびく標識となる [Genetti 1991]。

^{注23} 共同格の *=ʔíŋ* は共同格 (5-B4 など) としての機能のみならず、道具・手段の標示という具格相当の機能ももつ (5-B3 など)。

A4: *gari =?íj laj =gá.*

car =COM to.go =NMLS.FUT

車でいきます

A5: *gari tikái? =?w? mərí -pí -yaŋ =náij.*

car ticket =too to.buy -put-CMPL =PRFP

車の切符もすでにかっこっています

B4: *?áyu =?íj laj =gá =yá?*

who =COM to.go =NMLS.FUT =CQ

誰といきますか

B5: *?ápha? =?íj =lé?*

friend =COM =PQ

友人とですか

A6: *?anuívá =?íj ma?ta laj =gá.*

parents =COM together to.go =NMLS.FUT

両親と一緒にいきます

(6)A1: *moŋmoŋ =gá ?avá ?ása.mí =gá ?áli? =?aŋ li? =he? =yá?*

PSN =NMLS father how =NMLS job =OBJ to.work =DP =CQ

モンモンのお父さんは何の仕事をしていますか

B1: *kyóŋsərá li? =he?.*

school.teacher to.work =DP

学校の先生をしています

B2: *kyóŋ =ŋa kola +tú səniŋ ^{注24} =he?.*

school =LOC Bangla +language to.teach =DP

学校でバングラ語をおしえています

A2: *?anú =gw? ?ása.mí =gá ?áli? =?aŋ li? =he? =yá?*

mother =TOP how =NMLS.GEN job =OBJ to.work =DP =CQ

お母さんは何の仕事をしていますか

B3: *jí =?a ?ujá ?áfe =he?.*

bazar =LOC thing to.sell =DP

市場でものをうっています

注²⁴ *səniŋ* は文脈によって “to.teach” (6-B2 など) とも “to.learn” (13-A3 など) とも解釈される。

B4: *?amyúmyú =gá ?ujá ?áfe =he?*

various =NMLS thing to.sell =DP
 色々なものをうっています

A3: *?ása +ma =a ?áfe =he? =yá?*

what +where =LOC to.sell =DP =CQ
 どこでうっていますか

B5: *jí =toɸhúɸ =ɸa ?áfe =he?*

bazar =place.inside =LOC to.sell =DP
 市場の中でうっています

B6: *?anú =gá chaiɸ =yay =guɸ lú có =he? =ká pri*

mother =NMLS.GEN shop =OBJ =TOP people to.like =DP =NMLS to.be.many
 =he?

=DP

母の店をすきな人がおおいです

(7)A1: *málá.me =thóne?^{註25} jəpaiɸ +bwé ɸa =he? =lé?*

PSN =beside Japan +book to.exist =DP =PQ
 マーラーメーのところには日本の本がありますか

B1: *ɸa =he?*

to.exist =DP
 あります

A2: *?ása =tái? ?ú? ɸa =he? =yá?*

what =up.to CL:book to.exist =DP =CQ
 何冊ありますか

B2: *si -?ú? =cɸ? ɸa =he?*

ten -CL:book =almost to.exist =DP
 十冊くらいあります

A3: *búɸbúɸ ɸa =he? =də?é.*

many to.exist =DP =SFP
 たくさんありますね

註25 所有をあらわすには所有者のあとに=*thóne?* (7-A1 など) または=*ká/ =gá* (12-A4 など) を後続させ、述語として存在動詞を使用する。被所有者は主語としてあらわれる。

A4: *ŋa =thóne? ?ú? -ta* ^{注26} =*me ŋa =he?*.

1 =beside CL:book -one =EMPH to.exist =DP
わたしのところには一冊だけあります

A5: *?ása.mí ri =go? lu =he? =ká =yá?*

how to.do =SEQ to.get =DP =NMLS =CQ
どのようにして入手したのですか

B3: *?aphá? hú -wa jəpaiŋ =ya =báŋmá pu -na?* ^{注27} *-?aiŋ =he? =ká.*

friend CL:man -one Japan =LOC =from to.send -beat -VEN =DP =NMLS
ある友人が日本からおくってくれたのです

(8)A1: *málá.me, ya? ?ása +ma =a laŋ -ka? =he? =yá?*

PSN today what +where =LOC to.go -want =DP =CQ
マーラーメー、今日どこにいきたいですか

B1: *ŋa ya? rwado =wa laŋ -ka? =he?*.

1 today PLN:Bandarban =LOC to.go -want =DP
私は今日バンドルバンにいきたいです

B2: *má =a =báŋmá =?íŋ* ^{注28} *gari =?íŋ laŋ -fo =gá =lé?*

this =LOC =from =COM car =COM to.go -see=NMLS.FUT =PQ
ここからは車でいかなければならないのですか

A2: *gari =?íŋ laŋ =gá ?a- có =bu?*

car =COM to.go =NMLS NEG- to.need =NEG.DP
車でいく必要はありません

A3: *rwado =gui? ?ácuusa.*

PLN:Bandarban =TOP near
バンドルバンはちかいです

^{注26} 数詞と類別詞の辞順について、本来語では「一」のときのみ“CL-one”となり（7-A4 など）、その他の場合は“NUM-CL”となる（7-B2 など）。これはルイ語群に共通する特徴でもある。なお、マルマ語からの借用語については、一貫して“NUM-CL”となる（14-A1）。

^{注27} *-na?* は助動詞としては先行する動詞を強調するのみで、有無による文意の変化は微細である。ただし、自他両用動詞に付加する場合には、他動詞であることを明示する機能がある。たとえば *ŋa má gari=?aŋ fáŋ-na? =he?*, *nógóná=?a má gari fáŋ-go? =he?* “1 this car=OBJ to.be.clean-beat=DP, for.this.reason=LOC this car to.be.clean=SEQ=DP” [Huziwara 2016: 247] では、*fáŋ* が *-na?* の有無により、自動詞にも他動詞にもなっている。なお、この例文で SEQ と語釈がつく *=go?* には動詞を副詞的にする機能もある。

^{注28} 共同格 *=?íŋ* が *=báŋmá* に後続するとき、全体しては起点をあらわす。

- A4: *láj ha =go? laŋ -lu =he?*
road to.walk =SEQ to.go -get=DP
あるいていくことができます
- B3: *?ása ŋá =ne?, ^{注29} ŋa ?átai? ?áta kəna -túŋ =he?*
what to.say =COND 1 now foot to.be.painful -stay=DP
しかし、私は今足がいたいです
- B4: *ri?fá =?íŋ laŋ -lu =he? =lé?*
rickshaw =COM to.go -get =DP =PQ
リキシャでいけますか
- A5: *laŋ -lu =he?*
to.go -get =DP
いけます
- A6: *má =de =gá ?áca =a, ri?fá =?íŋ laŋ =gá =ma?*
this =like =NMLS reason =LOC rikshaw =COM to.go =NMLS =SUBJ
だから、リキシャでいきます
- A7: *?ása.tái? ?i -bo =gá =yá?*
how.much to.give -see =NMLS.FUT =CQ
どれくらいはらわなければいけないのですか
- B5: *ŋáíŋjɪ^{注30} =jɪ? ?i -bo =gá.*
fifty =almost to.give -see =NMLS.FUT
50 (タカ^{注31}) くらいはらわなければいけません
- (9)A1: *?apá, má =gwáj =ŋa karáŋ +?ujá ?áfe =he? =ká chaiŋ^{注32} ŋa*
brother this =within =LOC electricity +thing to.sell =DP =NMLS shop to.exist
=he? =lé?
=DP =PQ
お兄さん、このあたりに電化製品をうっている店はありますか

注29 *?ása ŋá=ne?* は全体で逆接をあらわす慣用表現である。

注30 *ŋáíŋjɪ* は数詞の形態法として不規則であり、構成的ではない。規則的には *ŋáɪ* となることが予想される。ただし、同様に不規則な形式がルイ語群のチャクパ語 (Chakpa) にも観察される。

注31 「タカ」はバングラデシュの通貨単位。

注32 *karáŋ+?ujá ?áfe=he? =ká chaiŋ* は *chaiŋ* を主要部とする名詞修飾表現である。名詞修飾節の末端を標示する標識として *=ká/=gá* “=NMLS” が使用される。

B1: *ŋa* =*he?*

to.exist =DP
あります

B2: *ʔátaiʔ saikél*^{注33} *pruhəráŋ* =*ná* =*a* *ŋa* =*he?*

now bicycle appear.place =place.near =LOC to.exist =DP
今自転車がでてきたところのちかくにあります

B3: *bo* =*he?* =*lé?*

to.see =DP =PQ
みえますか

A2: *ʔiŋ, bo* =*he?*, *bo* =*he?*

yes to.see =DP to.see =DP
はい、みえます、みえます

A3: *ʔiŋmá chaiŋ* =*ya tibi ʔáfe* =*he?* =*lé?*

that shop =LOC TV to.sell =DP =PQ
その店でテレビはうってますか

A4: *tibi +buləliŋ la -aiŋ -kaʔ* =*he?*

TV +big to.take -VEN -want =DP
おおきなテレビをてにいれたいです

B4: *húŋmá chaiŋ* =*ya buləliŋ ʔá- ŋa* =*buʔ* =*sónuʔ*.^{注34}

that shop =LOC big NEG- to.exist =NEG.DP =SFP
その店におおきいのはないかもしれません

B5: *ʔapíʔsa* =*gá.lú*^{注35} *ŋa* =*he?* =*sónuʔ*.

small =DEF to.exist =DP =SFP
ちいさいのはあるかもしれません

A5: *ʔadəláŋ* =*lé?*

really =PQ
本当ですか

注33 チャック語の本来語では-ʔと-ŋのみが音節末子音としてあらわれうる。それ以外の子音はバングラ語経由の借用語にのみみられる。

注34 =*sónuʔ* は話者の疑念をあらわす文末小辞。

注35 =*gá.lú*は定辞であり、=*gá=lú* “=NMLS=man”と分析可能である。ただし、かならずしも人名詞ばかりにつくわけではない。ここでも先行する無生物名詞（テレビ）の性質をあらわす語彙に付加している。

A6: *phrai? -ka? =ká phrai? =laŋ,* ^{注36} *yu -wa -fo =gá.*
 to.become -want =NMLS to.become =go.IMP to.watch -ANDV -see =NMLS.FUT
 どうであるにせよ、いってみないとはいけません

A7: *kyíjú ɗaŋ -ŋaiŋ -ma?.*
 thank to.put.on -VEN -SUBJ
 ありがとうございます

B6: *?é.*
 ITJ
 どういたしました

(10)A1: *moŋmoŋ =gu? ?íŋsi la =go? ?i -yaiŋ =he?.*

PSN =TOP gourd to.take =SEQ to.give -VEN =DP
 モンモンが瓜をもってきてくれました

A2: *?íŋsi =?aŋ ?ása.mí pru =go? hrúŋ +sa =gá*
 gourd =OBJ how to.prepare.to.cook.dishes =SEQ to.cook +to.eat =NMLS.FUT
 =yá?

=CQ
 瓜はどのように下ごしらえして料理してたべるのですか

A3: *má =?atáŋŋ ?akáŋŋ =go? sa =gá lu* ^{注37} *=gá =lé?*
 this =like to.bite =SEQ to.eat =NMLS to.get =NMLS.FUT =PQ
 このままかんでたべられるのですか

B1: *?á- sa -lu =bu? =ká.*
 NEG- to.eat -get =NEG.DP =NMLS.FUT
 たべられません

B2: *?alá? muŋ =go? sa -fo =gá.*
 skin to.peel =SEQ to.eat -see =NMLS.FUT
 皮をむいてたべなければなりません

^{注36} VERB-*ká?*=*ká* VERB=*laŋ* で「VERB であるにせよ、そうでないにせよ」という意味の慣用表現である。なお、この=*laŋ* は動詞 *laŋ* “to.go” に由来すると推定される命令文標識であるから、“go.IMP” という語釈をつけている。

^{注37} *lu* は本動詞として使用されていても、従属節に後続する場合には可能の意味をあらわすことができる。

B3: ?íj̥si =?aŋ kywa =go? sa =nókwi?, ^{注38} mí =he?

gourd =OBJ to.fry =SEQ to.eat =COND.TOP to.be.good =DP

瓜はあげてたべるとおいしいです^{注39}

B4: sa -ka? =ne?, ?átai? kywa =go? ?i -yaiŋ -ni ^{注40} =sé?

to.eat -want =COND now to.fry =SEQ to.give -VEN -still =VOL

たべたいなら、今あげてあげましょう

—

B5: kywa -aŋ -bre =náŋ.

to.fry -CMPL -end =PRFP

もうあげ終わりました

B6: ?áci? -yu =wáŋ =jaŋ.

to.taste -watch =IMP =SFP

味見してみてください

B7: má faiŋkə?í =?íŋ tho? =ko? sa =áj =níŋ.

this sauce =COM to.dip =SEQ to.eat =IMP =SFP

このソースでたれをつけてたべてください

B8: ?ahərá ?ása.mí =yá?

taste how =CQ

味はどうですか

A4: dá?dá? mí =he?

very to.be.good =DP

とてもよいです

A5: málá.me jəpaiŋ =ya laŋ =go? ?éva =a ?áŋ -ya =ne?, mí

PSN Japan =LOC to.go =SEQ there =LOC to.sell -ANDV =COND to.be.good =gá.

=NMLS.FUT

マーラーメーは日本にいて、そこでうっていけばよいでしょう

A6: dá?dá? pu? -?aiŋ =gá.

very to.be.sold -VEN =NMLS.FUT

とてもうれるでしょう

^{注38} =nókwi? は =ne? “=COND” と =kwi? “=TOP” が縮約した形式。低声調のあとでは =nókwi?, 高声調のあとでは =nəkwi? であらわれる (16-A7)。

^{注39} 加藤 [1998] の表現を踏襲したけれども、チッタゴン丘陵では瓜をあげてたべることはしない。

^{注40} -ni は =sé? の直前では低声調で、それ以外の環境では高声調であられる (20-B3)。

B9: *bori daŋ =go? ʔá- ʔi -yaiŋ =yé?*

flattery to.put.on =SEQ NEG- to.give -VEN =NEG.IMP

お世辞をいってこないでください

(11)A1: *səʔiʔ, 注41 yaʔ ʔifəku =wa ʔá- laŋ =buʔ =ká =lé?*

daughter.VOC today school =LOC NEG- to.go =NEG.DP =NMLS.FUT =PQ

娘よ、今日は学校にいかないのかい

B1: *yaʔ ʔifəku píʔ =heʔ =ká =ná =ʔa, 注42 laŋ =gá ʔa- có*

today school to.close =DP =NMLS =place.near =LOC to.go =NMLS NEG- to.need =buʔ.

=NEG.DP

今日は学校はやすみなので、いく必要はないです

B2: *ʔavá =yuʔ yúŋ =ŋa ʔá- laŋ =ʔeʔ 注43 =ká =lé?*

father =too office =LOC NEG- to.go =NEG.NMLS =NMLS =PQ

父さんも会社にいかないのですか

A2: *yaʔ ʔapíʔ kəna =gá =ná =ʔa, ʔá- laŋ =náŋ.*

today belly to.feel.pain =NMLS =place.near =LOC NEG- to.go =PRFP

今日はお腹がいたいので、もういかない

A3: *naʔtəkráíʔ múŋdī búŋ =goʔ 注44 sa -laŋ =heʔ =ká =ná =ʔa.*

yesterday rice.noodle many =SEQ to.eat -go =DP =NMLS =place.near =LOC

昨日、米麺をたくさん食べたので

B3: *ʔavá =yuʔ kaiŋthaŋ cíʔsa sədíʔ pí =yáŋ.*

father =too body bit attention to.put =IMP

父さんも体にすこし注意してください

A4: *sədíʔ pí =gá =yuʔ phraiʔ -kaiʔ =heʔ.*

attention to.put =NMLS =too to.become -run =DP

注意してもなってしまった

注41 呼格でなければ *ʔásəʔiʔ* という形式がもちいられる。

注42 一般に従属節の末尾にはなんらかの従属節標識あるいは場所格標識があらわれる。しかし場所格の=aは母音aに後続すると融合するので、従属節末にaでおわる語がくるとき、場所格の=aの有無が音形のみからは判断できない。ただし、=ká=ná=ʔaについては、場所格の語頭に声門閉鎖音が付加した=ʔaがあらわれるので、場所格があるとわかる。

注43 =ʔeʔは平叙文では一般に=ká“=NMLS”が後続する。しかし疑問文では後続しないこともある。たとえば *ʔa-mí=ʔeʔ=lé?* “NEG-to.be.good=NEG.NMLS=PQ”と叫ぶ。

注44 =goʔは一般に継起をあらわす標識として動詞に付加する。また、動詞を副詞的にする機能もある。ただし *buŋ* が単独で動詞としてもちいられることはない。

A5: ?a- tá -lu =ɓuu? =ká.

NEG- to.disturb -get =NEG.DP =NMLS

どうしようもないのだ

B4: ?avá =aŋ ?anú təkhatəri chu =he?, ní ŋá =gá =yuu?,

father =OBJ mother sometimes to.be.in.trouble =DP like.this to.say =NMLS =too

sú -wa =yuu? ?até =ɓuu? =níŋ.

CL:thing -one =too to.listen =NEG.DP =SFP

父さんを母さんがよくしかるといっても、すこしもきかないのね

B5: da?dá? khá? =he?, déyaŋ?é.

very to.be.difficult =DP ITJ

とてもむずかしいですね

A6: kíŋ =ya ?anú níŋ -hú ŋa =gá =dɔle hra -na? =he?, déyaŋ?é.

house =LOC mother two -CL:man to.exist =NMLS =like to.feel -beat =DP ITJ

家に母さんが二人いるようだなあ

(12)A1: ŋa ?áŋgəlí? +?abídaŋ la -ka? =he?.

1 English +dictionary to.take -want =DP

私は英語の辞書がほしいです

A2: má ?abídaŋ =?íŋ má ?abídaŋ ?ása =gá.lú priyaŋsa mí =he? =yá?

this dictionary =COM this dictionary what =DEF more to.be.good =DP =CQ

この辞書とこの辞書とではどれがよりよいですか

B1: ?áma =guu? ?áma =doŋma priyaŋsa mí =gá hra =he?.

3 =TOP 3 =than more to.be.good =NMLS to.feel =DP

これがそれよりもよいとおもいます

B2: ?ása ri =go? ?áŋgəlí? +?abídaŋ la -ka? =ká =yá?

what to.do =SEQ English +dictionary to.take -want =NMLS.FUT =CQ

どうして英語の辞書がほしいのですか

A3: ŋa ?áŋgəlí? +tú pri =gá səniŋ =he? =ká kyóŋ =ŋa fe

1 English +language to.speak =NMLS to.teach =DP =NMLS school =LOC to.climb

-túŋ =he?.

-stay =DP

私は英語をはなすのをおしえる学校にかよっています

A4: *ní* *ŋá* =*gá* =*yuu?*, *ŋa* =*gá* *ʔáŋgəlí?* +*ʔabídaŋ* *ʔá-* *ŋa*
 like.this to.say =NMLS =too 1 =NMLS.GEN English +dictionary NEG- to.exist
 =*buu?*.

=NEG.DP

そのようにいっても、私には英語の辞書がありません

B3: *má* =*de* *ŋá* =*ne?*, *ŋa* =*gá* *kíŋ* =*ya* =*gá* ^{注45} *ŋa* =*he?* =*ká*
 this =like to.say =COND 1 =NMLS.GEN house =LOC =ABL to.exist =DP =NMLS
 =*aj* *ʔi* -*na?* -*ʔaiŋ* =*gá*.

=OBJ to.give -beat -VEN =NMLS.FUT

そのようにいうなら、私の家にあるのをあげましょう

A5: *ʔiŋmá* *ʔabídaŋ* *mí* =*he?* =*lé?*

that dictionary to.be.good =DP =PQ

その辞書はよいですか

B4: *mí* =*he?*.

to.be.good =DP

よいです

B5: *ŋa* =*gá* *súŋsaŋ* =*he?* =*ká* =*gwáŋ* =*ŋa* *mí* -*jó* =*he?*.

1 =NMLS to.use =DP =NMLS =within =LOC to.be.good -most =DP

私が見つかった中でもっともよいです

B6: *kíŋ* =*ya* *vaiŋ!*

house =LOC to.come

家にきなさい

B7: *ʔátaí?* *ʔi* -*na?* -*ʔaiŋ* =*gá*.

now to.give -beat -VEN =NMLS.FUT

今あげましょう

A6: *təhoŋ* *kəna* =*he?*.

power to.feel.pain =DP

もうしわけないです

B8: *təhoŋ* *ʔá-* *kəna* =*yé?*!

power NEG- to.feel.pain =NEG.IMP

もうしわけないとおもわないでください

注45 場所格に後続する=*gá*はしばしば奪格に相当する機能をもつ。

- (13)A1: *málá.me, jəpaiŋ +tú pri =gá thój =he? =lé?*
 PSN Japan +language to.speak =NMLS to.be.able.to =DP =PQ
 マーラーメー、日本語をはなすことができますか
- B1: *?a- thój =bɯ?*
 NEG- to.be.able.to =NEG.DP
 できません
- B2: *moŋmoŋ =gɯ??*
 PSN =TOP
 モンモンは
- A2: *čí?sa pri =gá thój =he?*
 bit to.speak =NMLS to.be.able.to =DP
 すこしはなすことができます
- A3: *məlá niŋ -na =jɪ? səniŋ -hra=he?*
 before CL:year -one =almost to.learn -feel=DP
 以前一年ほどまなんだことがあります
- B3: *təru? +tú =wɯ? pri =gá thój =he? =lé?*
 Chinese +language =too to.speak =NMLS to.be.able.to =DP =PQ
 中国語もはなすことができますか
- A4: *təru? +tú =gɯ? da?dá? pri =gá thój =he?*
 Chinese +language =TOP very to.speak =NMLS to.be.able.to =DP
 中国語はとてもはなすことができます
- A5: *maiŋsa =təhai?, kíŋ =ná =gá təru? +?u?sa hú -wa*
 child =time.when house =place.near =NMLS.GEN Chinese +old.man CL:man -one
ŋa =jɪ? ya? -ta =gá =ra^{注46} səniŋ ?i -yaiŋ =he?
 1 =for CL:day -one =NMLS =? to.teach to.give -VEN =DP
 子どものころ、家のちかくの中国人のおじいさんが毎日おしえてくれました
- B4: *má =de ŋá =ne?, ?áŋgəlɪ? +tú da?dá? pri =gá thój*
 this =like to.say =COND English +language very to.speak =NMLS to.be.able.to
-laŋ =gá =də?é.
 -go =NMLS.FUT =SFP
 そのようにいうなら、英語もとてもはなすことができるはずですよ
- A6: *?iŋ, pri =gá thój =he?*
 yes to.speak =NMLS to.be.able.to =DP
 はい、はなすことができます

注46 *ya?ta=gá=ra* は全体で「毎日」という意味。

B5: *dá?dá? to =he?*

very to.be.skillful =DP

とてもすごいです

(14)A1: *málá.me =guu? tǎ- hǎle =ya ha? -ta né +sǎrá =thǎne?*

PSN =TOP one- CL:week =LOC CL:time -one recorder +teacher =beside

né mu? =ká sǎniŋ -túŋ =he?

recorder blow =NMLS to.learn -stay =DP

マーラーメーは週に一度笛の先生のところで笛をなっています

B1: *málá.me, vaiŋ =gá ?áhǎle =ya ?ása.tái? -fǎ? +tí =ya vaiŋ*

PSN to.come =NMLS week =LOC how.much -CL:hour +beat =LOC to.come

=go? sǎniŋ =gá =yá?

=SEQ to.learn =NMLS.FUT =CQ

マーラーメー、来週は何時にならにきますか

C1: *?apáŋhǎmai? che -fǎ? +tí =ya vaiŋ -lu =gá =lé?*

morning ten -CL:hour +beat =LOC to.come -get =NMLS.FUT =PQ

朝 10 時にくることはできますか

B2: *ŋa =gá ?apáŋhǎmai? ?áfiiŋ ?á- ŋa =bu?*

1 =NMLS.GEN morning time NEG- to.exist =NEG.DP

私には朝時間がありません

B3: *mǎruú =toŋhúŋ =ŋa laŋ =gá ŋa =he? =ká =ná =?a.*

city =place.inside =LOC to.go =NMLS to.exist =DP =NMLS =place.near =LOC

町中に行く用事があるので

C2: *má =dǎle ŋá =ne?, miŋnai? lé -fǎ? =tái? =?a lu =gá*

this =like to.say =COND afternoon four -CL:hour =almost =LOC to.get =NMLS.FUT =lé?

=PQ

そのようにいうなら、昼の 4 時ごろは可能ですか

B4: *?iiŋ, lu =gá.*

yes to.get =NMLS.FUT

はい、可能です

B5: *má =dəle ŋá =neʔ, miŋnaiʔ lé -fáʔ =táiʔ =ʔa ʔáhráiʔ*
 this =like to.say =COND afternoon four -CL:hour =almost =LOC to.bring.down
 =ká 注47 =heʔ.

=NMLS.FUT =DP

そのようにいうなら、昼の4時ごろにしましょう

B6: *málá.me, né səniŋ =heʔ =ká pyo =heʔ =léʔ*

PSN recorder to.learn =DP =NMLS to.be.happy =DP =PQ

マーラーメー、笛をならうのはたのしいですか

C3: *daʔdáʔ pyo =heʔ, sərá.*

very to.be.happy =DP teacher

とてもたのしいです、先生

C4: *né =gá ʔákra =guʔ daʔdáʔ ʔaté =gá mí =heʔ.*

recorder =NMLS sound =TOP very to.listen =NMLS to.be.good =DP

笛の音はとてもききごちがよいです

C5: *má ʔakróŋ =ʔiŋ ŋa daʔdáʔ rəmaʔ =heʔ.*

this reason =COM 1 very to.like =DP

その理由で、私はとても好きです

(15)A1: *moŋmoŋ ʔátaiʔ =ʔuʔ ʔá- vaiŋ -nə =buʔ, níŋ*

PSN now =too NEG- to.come -still =NEG.DP ITJ

モンモンは今もまだこないのかなあ

B1: *ŋa laʔ =heʔ =ká =raiʔ, “vaiŋ =gá” ŋá =goʔ^{注48} ŋá*

1 meet =DP =NMLS =time.when to.come =NMLS.FUT to.say =SEQ to.say
 -aiŋ =heʔ.

-VEN =DP

私があったときは「きます」といってくれました

B2: *ʔá- vaiŋ =náíŋ =gá =lé, ʔa- fé =buʔ.*

NEG- to.come =PRFP =NMLS.FUT =PQ NEG- to.know =NEG.DP

もうこないのかなあ、知らないけど

A2: *ləpháʔchaiŋ =ya túŋ =goʔ coŋ -dó =maʔ.*

tea.shop =LOC to.stay =SEQ to.wait -already =SUBJ

喫茶店でまちましょう

注47 文末位置で=heʔ “=DP”などに先行する=ká/=gá “=NMLS”は、固有の声調をうしなう傾向にある(注16)。しかし、未来をあらわす場合には保持される。

注48 *ŋá=goʔ*は引用をあらわす。「いう」に相当する動詞は文法化して引用をあらわす傾向がある[Saxena 1988]。

B3: *má =aj ʔá- ri =míj* ^{注49} *ŋa ʔáma =aj phúj ri =go?*
 this =OBJ NEG- to.do =before.doing 1 3 =OBJ telephone to.do =SEQ
yu ^{注50} =*gá*.

to.watch =NMLS.FUT

そうする前に、私は彼に電話してみます

B4: *má =a nara coj -túj =ŋáj*.

this =LOC for.a.while to.wait -stay =IMP

ここですこしまっていてください

—

C1: *málá.me =guʔ moŋmoŋ =ŋaŋ phúj ri =goʔ práiŋ -yaiŋ =heʔ*.

PSN =TOP PSN =OBJ telephone to.do =SEQ to.return -VEN =DP

マーラーメーはモンモンに電話してもどってきました

B5: *ʔáma yaʔ kvu =thóneʔ ʔa- káiŋ =ja ciŋ* ^{注51} =*goʔ ʔá-*
 3 today dog =beside PRFX to.bite =NMLS.PASS ask.PASS =SEQ NEG-
vaiŋ -lu =buʔ =ká =láíʔ.

to.come -get =NEG.DP =NMLS.FUT =HS

彼は今日犬にかまれて、くることができないそうです

A3: *ʔabəle*, ^{注52} *dúʔkhá, deʔé*.

ITJ unhappy ITJ

あれまあ、ひどいなあ

A4: *má =dəle ŋá =neʔ, ʔáma =thóneʔ jíŋjáj laj =goʔ təhoŋ ʔi -fo*
 this =like to.say =COND 3 =beside immediately to.go =SEQ power to.give -see
 =*gá*.

=NMLS.FUT

そのようにいうなら、彼のところに今すぐに行って、はげまさないといけません

^{注49} =*míj* は *míj* “to.be.ripe” と関係している可能性がある。他方、査読者 A の指摘によるとビルマ語で「～する前に」は「否定辞 + 動詞 + <mii>」であらわされる。この <mii> は本来「(手が) とどく」あるいは「時間に間に合う」というような意味である。この形式はマルマ語では *mwiŋ* で対応する。マルマ語の *mwiŋ* には「否定辞 + 動詞 + *mwiŋ*」で「～する前に」という意味は確認されていない。しかしチャック語の =*míj* は、この *mwiŋ* と関係している可能性もある。

^{注50} 動詞のあとで助動詞としてもちいられる動詞は、V=*koʔ*/=*goʔ* のあとで本動詞としてもちいられることもある。両者の相違はよくわからない。

^{注51} チャック語には迂言的受動態しかなく、受身的な表現は *ʔá-ʔa- VERB=ca|=ja ciŋ* “PRFX-VERB=NMLS.PASS ask.PASS” であらわされる。

^{注52} この語が *ʔabəle* と発音されないのは、語頭の *ʔa* が接頭辞ではない証左である。

- (16)A1: *ʔapá ʔoŋthwáij, ʔácaʔ +thij =ya ʔása ri =gá 注53 vaij =heʔ*
 brother PSN Cak +village =LOC what to.do =NMLS to.come =DP
 =ká =yá?
 =NMLS =CQ
 オントワイン兄さん、チャックの村には何をしにきたのですか
- B1: *ŋa ʔácaʔ +tú səniŋ =gá =jɪʔ ʔácaʔ +thij =ya vaij =heʔ*
 1 Cak +language to.learn =NMLS =for Cak +village =LOC to.come =DP
 =ká.
 =NMLS
 私はチャック語をまなぶためにチャックの村にきたのです
- A2: *ʔácaʔ +thij =ya thuʔ =heʔ =ká =a, ʔása.táiʔ =cíʔ ŋa -aŋ*
 Cak +village =LOC arrive =DP =NMLS =LOC how.much =almost to.exist -CMPL
 =náij =yá?
 =PRFP =CQ
 チャックの村についてからすでにどれくらいたちましたか
- B2: *səniŋ +sədá =jɪʔ ŋa -aŋ =náij.*
 seven +month =almost to.exist -CMPL =PRFP
 すでに七ヶ月ほどたちました
- A3: *səniŋ +sədá =ʔiŋ má =táiʔ pri =gá thóŋ -kəʔaij =náij*
 seven +month =COM this =much to.speak =NMLS to.be.able.to -PRFV.VEN =PRFP
 =lé?
 =PQ
 七ヶ月ですでにこれくらいはなせるようになったのですか
- A4: *ʔáijmó =gá mí =heʔ.*
 to.be.surprised =NMLS to.be.good =DP
 おどろくべきことです
- A5: *ʔácaʔ +thij =ya ʔá- vaij =míŋ ʔiŋmá səniŋ -dáʔ*
 Cak +village =LOC NEG- to.come =before.doing that to.learn -do.and.come
 =heʔ =ká =lé?
 =DP =NMLS =PQ
 チャックの村にこないうちにそちらでまなんできたのですか
- B3: *ʔabré =yuuʔ ʔá- səniŋ -dáʔ =ɬuuʔ.*
 totally =too NEG- to.learn -do.and.come =NEG.DP
 まったくまなできませんでした

注53 名詞化標識=ká/=gáには目的をあらわす用法もある。

B4: *má =a thu? =he? =ká =a, səniŋ =gá cá =ga =hu?*

this =LOC arrive =DP =NMLS =LOC to.learn =NMLS to.begin =NMLS =SP

ここについてからまなびはじめたところです

B5: *ní =gá =ná =?a, mələ pri =gá thóŋ =má*

like.this =NMLS =place.near =LOC quickly to.speak =NMLS to.be.able.to =up.to

da?da? krójá -bo =he?

very to.make.an.effort -see =DP

このようなわけで、はやくはなせるようになるためにとても努力しなければなりませんでした

A6: *?áca? +təhráj =ŋu? ŋá =gá thóŋ =he? =lé?*

Cak +song =too to.say =NMLS to.be.able.to =DP =PQ

チャックの歌も歌うことができますか

A7: *thóŋ =nəkwu?, pai? -ta =lé ŋá +sənáí? -?aiŋ =jaŋ.*

to.be.able.to =COND.TOP CL:song -one =almost to.say +to.show -VEN =SFP

できるなら、一曲ほど歌ってみせてください

B6: *?atəhráj ŋá -bo =he? =ká ?acáiŋ =gá mí =he?*

song to.say -see =DP =NMLS be.shamed.of =NMLS to.be.good =DP

歌を歌わなければならぬのははずかしいです

B7: *nó?tái? =me ŋá +sənáí? -?aiŋ -ni =sé?*

later =EMPH to.say +to.show -VEN -still =VOL

あとでまた歌ってみせましょう

(17)A1: *ŋa ?áca? +thiŋ =ya thu? =pháŋrai?pájma ha? -ta =yuu? kəmu? ?a-
1 Cak +village =LOC arrive =since CL:time -one =too lungi NEG-
kyí -hra =bu?*

to.wear -feel =NEG.DP

わたしはチャックの村にきてから一度も腰布をはいたことはありません

A2: *má ?akróŋ =?íŋ ŋa ?átai? kəmu? mərí -?a =gá.*

this reason =COM 1 now lungi to.buy -ANDV =NMLS.FUT

この理由で私は今腰布をかいにいけます

A3: *ʔácaʔ +thiŋ =ya túŋ =heʔ =ká =raiʔ, kəmə kyí =neʔ,*
Cak +village =LOC to.stay =DP =NMLS =time.when lungi to.wear =COND
mí =heʔ, ʔá- ri =ɓuʔ =lé?^{注54}

to.be.good =DP NEG- to.do =NEG.DP =PQ

チャックの村にすむときは腰布をはくとよいです、ちがいますか

B1: *ʔiŋ, kəmə kyí -ʔáiʔ =heʔ.*

yes lungi to.wear -be.appropriate =DP

はい、腰布をはくべきです

B2: *ʔapá ʔoŋthwáŋ =guʔ kəmə kyí -túŋ =neʔ, “naiŋŋaiŋkhrá =gá*
brother PSN =TOP lungi to.wear -stay =COND foreigner =NMLS.GEN
lú =lé?”, “ʔáyu =wá?” ʔá =goʔ ʔa- fé =ɓuʔ =ká.

people =PQ who =CQ to.say =SEQ NEG- to.know =NEG.DP =NMLS.FUT

オントワイン兄さんが腰布をはいていれば、「外国人かな」、「誰だ」とは、
 いてもわからないでしょう

—

A4: *má kəmə ʔása.táiʔ =ʔáʔ*

this lungi how.much =CQ

この腰布はいくらですか

C1: *khróʔ +ra.*

six +hundred

600 (タカ) です

A5: *ʔí proŋ =heʔ.*

price to.be.big =DP

値段がたかいです

A6: *ʔí sáiŋ -júŋ =yáy =níŋ.*

price to.be.few -CAUS =IMP =SFP

値段をすくなくしてくださいよ

C2: *má ʔí tɔba =heʔ.*

this price to.be.enough =DP

この値段は十分です

C3: *ʔí sáiŋ -júŋ =gá ʔá- lu =ɓuʔ =ká.*

price to.be.few -CAUS =NMLS NEG- get =NEG.DP =NMLS.FUT

値段をすくなくすることはできません

^{注54} *ʔá-ri=ɓuʔ=lé*は付加疑問をしめす文末表現である。

A7: *ŋá +ra pí =yáy =dái?*

five +hundred put =IMP =IMP
500 (タカ) にしてくださいよ

C4: *má =de ŋá =ne?, ŋá +ra +ŋá +che =?íŋ ?i -yaiŋ =sé?*

this =like say =COND five +hundred five +ten =COM to.give -VEN =VOL
そのようにいうなら、550 (タカ) にしてあげましょう

C5: *má =doŋma ywá =go? ?á- ?i -lu =náiy =gá.*

this =than to.cut.a.price =SEQ NEG- to.give -get =PRFP =NMLS.FUT
これよりも値さげするのはもうしてあげられません

(18)A1: *cí? ŋyó =he?*

heart to.be.bad =DP
気分がわるいです

A2: *kaiŋtha -brái? ?akyí -kə?aiŋ =náiy.*

body -whole to.be.wet -PRFV.VEN =PRFP
体全体がもうぬれてしまいました

B1: *?ása.mí =gá =jái? phrai? =he? =ká =yá?*

how =NMLS =thing to.become =DP =NMLS =CQ
どのようなことがおきたのですか

B2: *hráj =ŋa ?akyí =he? =ká =lé?*

rain LOC to.be.wet =DP =NMLS =PQ
雨にぬれたのですか

A3: *?iŋ, thí =kəda kíŋ =ya =bájma pru -díŋ =he?*

yes umbrella =without house =LOC =from to.go.out -by.mistake =DP
はい、傘なしで家からでてきてしまいました

A4: *má =de hráj búŋ =go? vé -yaiŋ =gá ?á- hra -laŋ =ɸu? ri*

this =like rain many =SEQ to.rain -VEN =NMLS NEG- to.feel -go =NEG.DP to.do
=go?.^{注55}

=SEQ

このようにたくさん雨がふるとはおもわなかったので

^{注55} *ri=go?* は、直訳すれば「～して」となるけれども、ここでは理由をあらわしている。

B3: *rwado =wa ɣá =neʔ, ʔujúháíʔ yaʔ -ta =gá =ra má =dəle*
 PLN:Bandarban =LOC to.say =COND rainy.season CL:day -one =NMLS =? this =like
hráj vé =heʔ =ʔeʔ.

rain to.rain =DP =SFP

バンドルバンといえば、雨季には毎日このように雨がふりますよ

A5: *ʔapónaiʔ =ʔuʔ vé =gá =léʔ*

tomorrow =too to.rain =NMLS.FUT =PQ

明日も雨がふるのですか

B4: *vé -kaʔ =neʔ, vé -yaiŋ =gá.*

to.rain -want =COND to.rain -VEN =NMLS.FUT

ふるかもしれません

B5: *ʔa- vé -yaiŋ -kaʔ =neʔ, ʔa- vé -yaiŋ =buʔ =ká.*

NEG- to.rain -VEN -want =COND NEG- to.rain -VEN =NEG.DP =NMLS.FUT

ふらないかもしれません

A6: *ɣa =guʔ jəpaiŋ +lumyú =gá =doŋ pəphá ʔa- jé =buʔ.*

1 =TOP Japan +people =NMLS =reason totally NEG- to.know =NEG.DP

私は日本人なのでまったく知りませんでした

A7: *ɣa jəpaiŋ +práŋ =ya túŋ -dáʔ =heʔ =ká =raiʔ, laŋ -kaʔ*

1 Japan +country =LOC to.stay -do.and.come =DP =NMLS =time.when to.go -want

=ká laŋ, ^{注56} thí =kəda laŋ =gá ʔá =heʔ.

=NMLS to.go umbrella =without to.go =NMLS to.be.accustomed.to =DP

私が日本にいたときは、どこにいこうとも、傘なしでいていました

B6: *ʔapá, má pəhoŋsa =ʔíŋ məlá~məlá pwaiʔ -naʔ =ʔáj!*

brother this handkerchief =COM quickly~quickly to.wipe -beat =IMP

兄さん、このハンカチではやくふいてください

B7: *kruʔsuʔ =ká =aŋ pədáj =goʔ.*

to.catch.a.cold =NMLS =OBJ to.fear =SEQ

風邪をひくとこわいので

(19)A1: *ɣa ʔapónaiʔ cáíʔtəgóŋ =ɣa laŋ -bo =gá.*

1 tomorrow PLN:Chittagong =LOC to.go -see =NMLS.FUT

私は明日チッタゴンにいかなければなりません

^{注56} VERB-*kaʔ=neʔ* VERB=*ká/=gá* “VERB-want=COND VERB=NMLS.FUT”で「VERB するかもしれない」という意味の慣用表現である。注36でのべた VERB-*kaʔ=ká* VERB=*laŋ* と類似している。本来は *laŋ-kaʔ=ká laŋ=laŋ* というべきであるかもしれない。しかし、ここでは *laŋ* が重複していない。冗長であるからかもしれない。

A2: *gari =?íj pu -va =gá lú =way súj -túj =ga =hu?*

car =COM to.send -come =NMLS people =OBJ to.search -stay =NMLS =SP
車でおくってくれる人をさがしているところです

B1: *ja pu -bo -jij.* 注57

1 to.send -see -CAUS

私におくってみることをさせてください

A3: *lu =gá =lé?*

to.get =NMLS.FUT =PQ

できますか

B2: *lu =gá.*

to.get =NMLS.FUT

できます

B3: *sarámá? =cá? ja =ne?, ?ákuuyi ?i -bo =gá =?e?*

female.teacher =for to.say =COND help to.give -see =NMLS.FUT =SFP

先生のためならたすけてあげなければいけませんよ

A4: *kyjú? dáj -jaij =ma?*

thank put.on -VEN =SUBJ

ありがとうございます

A5: *ja =gá gari =gu? ?acá -kai? =ká =?íj tu =he?*

1 =NMLS.GEN car =TOP to.be.broken -run =NMLS =COM to.resemble =DP

私の車は故障してしまっただようです

A6: *cá? mój =go? ?á- lu =náij.*

machine to.drive =SEQ NEG- to.get =PRFP

エンジンをかけ（ようと）し）ても、もう（かけることが）できません

B4: *ja pyáj =go? ?i =gá.*

1 to.repair =SEQ to.give =NMLS.FUT

私が修理してあげます

B5: *ja =gu? cá? ja =ne?, ri -ka? =ká cá? ri =?áj.* 注58

1 =TOP machine to.say =COND to.do -want =NMLS machine to.do =IMP

pyáj =gá thój =he?

to.repair =NMLSto.be.able.to =DP

私は機械ならどんな機械であれ修理することができます

注57 VERB-*bo-jij* で「VERB させてみせてください」という意味。

注58 *ri-ka? =ká* NOUN *ri =?áj* で、「どんな NOUN であれ」という意味の慣用表現である。

A7: *hrai? =he? =lé?*

fall =DP =PQ

そうですか

A8: *nó?tái? pyáy =gá =jái? ŋa =ne?, moŋmoŋ =ŋaŋ pyáy -jítj*

later to.repair =NMLS =thing to.exist =COND PSN =OBJ to.repair -CAUS
=gá.

=NMLS.FUT

また修理するものがあれば、モンモンに修理させます

A9: *moŋmoŋ =ŋaŋ =gu? ?aiŋthoŋ =gá lu =he?*

PSN =OBJ =TOP to.rely.on =NMLS to.get =DP

モンモンはたよりになります

A10: *?ása ŋá =ne?, ?ása ri =gá ?a?i?dǎ ?á- dǎŋ =?e? =ká*

what to.say =COND what to.do =NMLS wife NEG- put.on =NEG.NMLS =NMLS.FUT
=yá?

=CQ

しかし、どうして妻をめとらないのでしょうか

A11: *?ása ri =go? kíj cu? =ko? ?á- sa =?e? =ká =yá?*

what to.do =SEQ house to.build =SEQ NEG- to.eat =NEG.NMLS =NMLS.FUT =CQ

どうして家庭をつかって生活しないのでしょうか

B6: *má =aŋ ?a- ŋá =yé?, sərámá?*

this =OBJ NEG- to.say =NEG.IMP female.teacher

それはいわないでください、先生

(20)A1: *?oŋthwáij, ?ása +miŋdai?^{注59} jəpaiŋ =ya práij +laŋ =gá =yá?*

PSN what +when Japan =LOC to.return +to.go =NMLS.FUT =CQ

オントワイン、いつ日本にもどるのですか

B1: *phwáijəsədá práij +laŋ -bo =gá.*

next.month to.return +to.go -see =NMLS.FUT

来月もどらなければいけません

B2: *?adəláj ŋa =gu? ?a- práij +laŋ -ka? -nó =fu?*

really 1 =TOP NEG- to.return +to.go -want -still =NEG.DP

本当はまだもどりたくないです

注59 *miŋdai?* 単独の用例はすくない。通常は *?ása+miŋdai?* の形式でもちいられる。

- A2: *ʔása.miŋdaiʔ ʔácaʔ +thiŋ =ya práiŋ +vaiŋ =gá =yáʔ*
 when Cak +village =LOC to.return +to.come =NMLS.FUT =CQ
 いつチャックの村にもどってくるのですか
- B3: *phraiʔ lu =nókkuʔ, má səniŋ =ya ʔáyoʔka haʔ -ta práiŋ =goʔ*
 to.become to.get =COND.TOP this year =LOC more CL:time -one to.return =SEQ
vaiŋ -ní =gá.
 to.come -still =NMLS.FUT
 できるなら、今年もう一度またもどってきます
- B4: *məlá práiŋ +vaiŋ -lu =má chúciŋ =yáy.*
 quickly to.return +to.come -get =up.to to.pray =IMP
 はやくもどってこられるように祈願してください
- A3: *ʔéva =a thuʔ =neʔ, niŋyaʔ =ʔaŋ maiʔ -kóləŋ =gá hra =heʔ.*
 there =LOC arrive =COND 1.PL =OBJ to.forget -PRFV.ANDV =NMLS to.feel =DP
 あちらについたら、私たちがわすれていってしまうとおもいます
- B5: *ŋa haʔ -ta =yuuʔ ʔácaʔ +lumyú =ʔaŋ ʔá- maiʔ =buʔ =ká.*
 1 CL:time -one =too Cak +people =OBJ NEG- to.forget =NEG.DP =NMLS.FUT
 私は一度もチャック人のことをわすれないです
- A4: *jəpaiŋ =ya thuʔ =nókkuʔ, ʔása.mí =gá =jáiʔ liʔ =ká =yáʔ*
 Japan =LOC arrive =COND.TOP how =NMLS =thing to.work =NMLS.FUT =CQ
 日本についたら、どのようなことをするのですか
- B6: *ʔácaʔ +lumyú ʔakróŋ =ŋaŋ^{注60} bwé rwé =gá hra -túŋ =heʔ.*
 Cak +people reason =OBJ book to.write =NMLS to.feel -stay =DP
 チャック人にかんする本をかこうとおもっています

記号・略号一覧

- /A/ A は音素表記
 [A] A は音声表記
 <A> A は文字転写
 (A) A は任意の要素
 A > B A は B に変化する
 A|B A と B は条件変異
 ? 語義不明
 . 形態素境界

^{注60} *ʔakróŋ=ŋaŋ* で「～について」という意味である。*ʔakróŋ=ʔiŋ* “reason=COM”でも同義である。

+	複合語境界
-	接辞境界
=	接語境界
~	重複境界
1, 3	人称（それぞれ1人称、3人称）
ABL (ABLative)	奪格
ANDV (ANDative)	去辞
C (Consonant)	子音
CAUS (CAUSative)	使役
CL (CLassifier)	類別詞
CMPL (CoMPLetive)	完遂
COM (COMitative)	共同格
COND (CONDitional)	条件
COP (COPula)	繫辞
CQ (Content Question marker)	補足疑問標識
DEF (DEFinite marker)	定辞
DP (Dynamic Predicate marker)	動態述部標識
EMPH (EMPHatic)	強意
FUT (FUTure)	未来
GEN (GENitive)	属格
HS (HearSay)	伝聞
IMP (IMPerative)	命令
ITJ (InTerJection)	間投詞
LOC (LOCative)	場所格
NEG (NEGative)	否定
NMLS (NoMinaLiser)	名詞化標識
NUM (NUMeral)	数詞
OBJ (OBJective)	目的格
OPT (OPTative)	祈願
PASS (PASSive)	受身
PL (PLural)	複数

PLN (PLace Name)	地名
PQ (Polar Question marker)	諾否疑問標識
PRFP (PeRFect Predicate)	完了述部標識
PRFV (PeRFectiVe)	完了相
PRFX (PReFiX)	接頭辞
PSN (PerSonal Name)	人名
SEQ (SEQuential)	繼起
SFP (Sentence Final Particle)	文末小辞
SP (Stative Predicate marker)	静態述部標識
SUBJ (SUBJunctive)	接続法
TOP (TOPic)	主題
V (Vowel)	母音
VEN (VENitive)	来辞
VOC (VOCative)	呼格
VOL (VOLitive)	意志法

参考文献

- 加藤昌彦 (1988) 『エクスプレス・ビルマ語』 白水社.
- 加藤昌彦 (2015) 『ニューエクスプレス・ビルマ語』 白水社.
- 藤原敬介 (2008) 「チャック語の記述言語学的研究」 京都大学大学院文学研究科博士論文.
- 藤原敬介 (2015) 「チャック文字によるチャック語表記上の課題」『京都大学言語学研究』 34: 1–24.
- 藤原敬介 (2017) 「マルマ語会話文資料」『言語記述論集』 9: 65–94.
- ထွန်းရွှေခိုင် (Thun Shwe Khaing) (1988) ရခိုင်မြောက်ဖျားဒေသမှ သက်တိုင်းရင်းသားများ၊ စစ်တွေကောလိပ်။
- မိုးစန္ဒာ (Moe Sandar) (2010) သက်တိုင်းယင်းသား ဘာသာစကားလေ့လာချက်၊ မြန်မာစာဌာန၊ ရန်ကုန်တက္ကသိုလ်။
- Genetti, Carol (1991) From postposition to subordinator in Newari. In Traugott, Elizabeth Closs and Bernd Heine (eds.), *Approaches to Grammaticalization*, Volume II, *Focus on Types of Grammatical Markers*. Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins Publishing Company, pp. 227–255.
- Huziwara, Keisuke (2016) *Cak-English-Bangla dictionary: a Tibeto-Burman language spoken in Bangladesh*. Dhaka: A H Development Publishing House.

- Kurabe, Keita (2012) Jingpho dialogue texts with grammatical notes. 『アジア・アフリカの言語と言語学』 7: 121–153.
- Saxena, Anju (1988) On syntactic convergence: the case of the verb ‘say’ in Tibeto-Burman. *Proceedings of the Fourteenth Annual Meeting of the Berkeley Linguistics Society*, pp. 375–388.

(附記) 本稿は科学研究費補助金（課題番号 16K02691）による研究成果の一部である。

Cak dialogue texts

HUZIWARA Keisuke

Abstract

Cak is a Luish language of Tibeto-Burman spoken in the Chittagong Hill Tracts, Bangladesh.

This paper provides a collection of interlinear texts of Cak dialogue which in turn is based on the twenty conversational texts from the textbook of Burmese for Japanese speakers by Kato [1998]. In the limited number of materials, fundamental grammatical aspects of the Cak language are demonstrated. They include examples of case markers, numerals and classifiers, negatives, interrogatives, imperatives, serial verb constructions, causatives, passives, adnominal clauses, conditionals, and possessive expressions and so forth.

Keywords: Cak, Sak, Tibeto-Burman, Luish, dialogue texts